



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北柏駅北口プロジェクト Ⅰ期Ⅱ期工事 新築工事 C棟	階数	地上2F
建設地	北柏駅北口土地区画整理事業地区内26街区の一部	構造	S造
用途地域	第二種住居専用地域、法22条指定地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2025年12月18日
敷地面積	6,254 m ²	作成者	澤田 知則
建築面積	3,751 m ²	確認日	2025年12月25日
延床面積	7,172 m ²	確認者	澤田 知則



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室内環境やサービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた</p>	<p>その他</p> <p>四季を感じられる植栽計画としている</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、室内空気質環境へ配慮している</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が高くて高い</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外壁の色彩計画は周辺の街並みに配慮している</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮している</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>建物の節水性に配慮している</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策に十分に配慮した計画</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

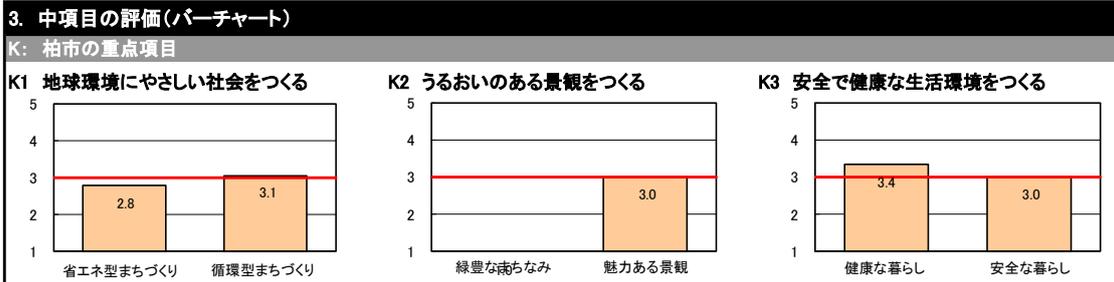


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	B+	★★★★☆
建物名称	(仮称)北柏駅北口プロジェクト I期II期工事 新築工事 C棟			

重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	2.9 / 5.0	がんばろう
K2 うるおいのある景観をつくる	2.0 / 5.0	がんばろう
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.1 / 5.0	ふつう
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上 ふつう 3点以上 がんばろう 3点未満	



4. 設計上の配慮事項	スコアシート
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する ・廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する 	<p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 1.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.3 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.2 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する ・緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する 	<p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 1.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する 	<p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 3.7 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -